



富士市制施行50周年

NPO 法人 富士市のごみを考える会

平成 28 年度 第 13 回定期総会

議 案

日 時:平成 28 年 5 月 21 日(土) 9 時 15 分～
場 所:青葉台まちづくりセンター1階 第一会議室



平成 28 年度 NPO 法人富士市のごみを考える会 総会次第

日時 平成 28 年 5 月 21 日(土) 9 時 15 分より

会場 青葉台まちづくりセンター1階 第一会議室

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 議長選出
4. 書記・議事録署名人選任
5. 議事
 - 1). 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について
 - 2). 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告及び監査報告について
 - 3). 参考資料 平成 28 年度役員(平成 27 年度より 2 年間)
 - 4). 第 3 号議案 平成 28 年度事業計画(案)について
 - 5). 第 4 号議案 平成 28 年度活動予算書(案)について
6. 議長解任・閉会

***** 休 憩 *****

もったいない音楽会 PART12 “みんなで歌おう 懐かしの唄”

時間: 10 時 00 分~12 時 場所:青葉台まちづくりセンター多目的室

- ◇ ア コ ー デ ィ オ ン : 後 藤 たか ね
- ◇ ピ ア ノ : ケ ル ン 多 恵 子
- ◇ ク ラ リ ネ ッ ト : 川 島 美 恵 子



- 第1部:みんなで歌おうなつかしのメロディー
- 第2部:浄化槽の使い方と仕組み
- 第3部:皆様からのリクエスト曲をみんなで歌おう

※ 歌詞カードを準備します

“リクエスト、大歓迎”

特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会 平成 27 年度事業報告書
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

活動総括

平成 27 年度は、豊田市エコットへの環境学習啓発施設の視察、JAICA から派遣されたタイの政府関係者にごみ減量の講座を行った。富士山ごみ減量大作戦への参加、環境フェア、家庭ごみの組成分析など県や市の行事に積極的に参加した。普及啓発活動面では、小学 4 年生対象の 3R の勉強会を開催し、紙芝居、ペットボトル回収、生ごみの EM ぼかしによる堆肥化等の講座を通し、これからの富士市の担い手となる子ども達の環境教育に協力した。

実践活動面のリユース食器活用活動については、市所有の大淵倉庫の売却による倉庫の明け渡し前に、会所有のリユース食器の数を大幅に減らし、必要最低限度の食器保有数にした。自動食器洗い機は、青葉台地区生涯学習推進会議に寄贈し、夏祭りや文化祭で使っていただくことにした。

事業報告

1. ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習 支出合計:212,370 円

<先進地域への見学・学習会、他団体との交流>

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
2015 10・23	豊田市環境学習啓発施設とよたエコット視察・TOYOTA 館見学、エコフルタウン視察見学	10 名	20 名	後に続く有意義な視察であった。
2016 3・13	豊田市環境学習啓発施設とよたエコット代表理事坂本竜児氏による「市民協働はじめの一步」講演会	6 名	21 名	意味深い勉強会となった。

2. ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動 支出合計:89, 162 円

<環境教育、その他の普及啓発活動>

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
2015 5・30	もったいない音楽会開催(音楽とごみ減量のはなし)	25 名	80 名	歌声バンドのご協力 で、楽しみながらご み減量のお話
6・16	JAICA から派遣されたタイ政府環境学習使節団へごみ減量の講座と会の紹介	8 名	50 名	もったいないふろし き講座が大好評だ った。ご寄附をいた だいた。
6・27	富士山ごみ減量大作戦に参加	9 名	88 名	富士山県道ごみ拾 い
8・3	富士市のごみを考える会理事会で懇親会	11 名	11 名	松田先生のロンドン オリンピックの環境 への取り組みの勉 強会、本の紹介
9・11	青葉台小学校 4 年生へ環境学習第 1 回目 環境アドバイザー派遣事業	13 名	105 名	ごみ減量がなぜ必 要なのか、生ごみ資 源化のやり方の説 明と実践

9・18	青葉台小学校 4 年生環境学習第 2 回目 環境アドバイザー派遣事業	7 名	105 名	朝、生ごみぼかしを 畑へ注入。2 限目 に、かん、ペットボ トル、紙、古着、廃 油、ビンなどがど のようにリサイクルさ れているのかの授業
9・13	ボーイスカウト富士 4 団ビーバー隊へ、ごみ減量クイズ と紙芝居、ごみ拾いの実践 環境アドバイザー派遣事業	2 名	13 名	ごみ減量の勉強に 張り切って取り組ん でくれました。
9・27	第40回富士市生活展 (消費者運動連絡会) 当会パネル展示 「ごみは宝だ」平成 26 年度青葉台小学校環境授業	4 名	700 名	前日の飾りつけから 取り組みました。
9.25	富士川第 1 中学校 1 年 2 年生対象に、浄化槽による 「水環境を守ろう！」という授業を、常葉大学小川浩教 授(理事長)が実施。浄化槽協会主催	5 名	300 名	生徒たちの熱心な 取り組みに感心
10・5	青葉台小学校 4 年生への環境学習授業第 3 回目 環境アドバイザー派遣	5 名	105 名	畑を掘り起こし、生 ごみが分解されてい るのを確認
10・9	環境クリーンセンター可燃ごみ組成分析協力 常葉大学富士キャンパス杉山涼子ゼミ主催 富士市廃棄物対策課、環境クリーンセンター、富士市 消費者運動連絡会と共同事業	11 名	50 名	2時間4地区の可燃 ごみの組成分析、古 紙、衣類、容器包装 プラの混入多し。も ったいないごみが多 すぎる
11・8	青葉台地区文化祭にて、ごみ減量クイズのステージと プラスチック容器包装の回収方法展示とリサイクル工 作実施	10 名	1500 名	リサイクル工作は 大人気でした。
11・20	「長泉町の自然環境を"今"考えましょう！水環境と浄 化槽講座」が、静岡県生活科学環境センター主催。 小川浩常葉大学教授(理事長)がコーディネーター、 佐野勝美理事がパネラーとして参加	3 名	1000 名	富士市の合併浄化 槽設置補助金や浄 化槽の点検清掃補 助金等のシステム策 定の経緯の説明
11・28	富士市環境フェア リサイクル工作と生ごみ資源化で 出展	9 名	3000 名	場所が狭く、リサイ クル工作でいっぱい になり、パネルや生 ごみ資源化が見え にくかった。
2016 1・31	「ヒノキの間伐材を使ってお箸を作ろう」きらり交流会議 と共催	13 名	105 名	とても人気の企画と なり、事前申し込み が 100 名を超えた、 静岡新聞等各紙で 取り上げられた。

3. ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動

支出合計:22,851 円

<リユース食器活用事業、ごみの分別指導>

日時	活動内容	貸出 食器数	参加者数		備考(貸出食器 No)
			会員	全体	
2015 4・19	光の丘祭りに貸し出し	600	1	300	
5・22	パルシステムイベントに貸し出し	1320	3	300	
6・13	静岡(三菱電機 OB 会)に貸し出し	300	0	30	
7・16	鷹岡通学合宿に貸し出し	400	2	50	
7・16	広見地区通学合宿に食器貸し出し	285	2	50	
8・2	青葉台地区夏祭りに、リユース食器を貸し出し	660	9	3000	まちづくりが主導
8・2	新浜夏祭りに、リユース食器貸し出し	400	0	300	
8・2	富士青年会議所東海フォーラム東海大会に貸し出し	2350	5	2000	
8・5	大淵倉庫リユース食器整理	0	8	0	
9.27	新浜体育祭に貸し出し	300	0	100	
10・4	丘ホームまつりに貸し出し	40	1	100	
10・18	田子の浦地区秋祭りに貸し出し	1420	2	1000	
10・18	市民福祉祭りリユース食器有志に貸し出し	1800	8	3000	
11・7	新浜祭典に貸し出し	300	0	100	
2016 2・17	大淵倉庫からリユース食器を撤退・処分 事務局倉庫等に保管	0	13	0	事務局倉庫保管数 NO1: 165 個 NO2: 214 個 NO4: 65 個 NO5: 64 個 NO7: 576 個 NO8: 288 個 NO13:280 個 NO14:206 個 NO15:274 個 NO22: 85 個 コップ:361 個 スプーン小:39 個 スプーン大:39 個 レンゲ:700 個
3・17	事務局倉庫等 リユース食器整理	0	6	0	
合計		11,975	54	10,330	

<審議会、プロジェクト等への参加>

日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
年2回	廃棄物減量化等推進審議会(第7期)	1名	30名	小野房雄
年2回	NPO協議会定例会出席	1名	15名	熊谷良子
2015 11・21	浄化槽フォーラム理事会	1名	20名	小野由美子
2016 3・7	きらり交流会議・報告会出席	1名	20名	小野房雄
3・13	ふじさんネットワーク理事会	2名	20名	平田淳子、 石川多津子

<その他の実践活動>


日時	活動内容	参加者数		備考
		会員	全体	
2015 5・30	NPO 法人富士市のごみを考える会総会	25名	25名	
6・16	NPO 法人富士市のごみを考える会臨時総会	11名	11名	新理事長と新理事 決定
11・21	愛知県江南市にて、環境省主催 浄化槽フォーラム in 江南に理事として参加	3名	300名	小川理事長コーディネーター、 小野由美子理事、 佐野勝美理事

<会として他団体への参加>

環境省、静岡県、富士市、浄化槽フォーラム、ふじさんネットワーク、きらり交流会議、富士市 NPO 協議会
 リユース食器ネットワーク、富士市消費者運動連絡会、有機農産物普及・堆肥化促進協会、自然復元協会、静
 岡県地球温暖化防止活動推進センター、生ごみコーディネーター連絡会、チームマイナス6%
 我が家の環境大臣、静岡県バイオマスネットワーク、東海道・吉原塾
 富士市地球温暖化防止活動地域協議会

平成 27 年度活動決算を報告します。

平成 28 年 4 月 8 日

理事長 小川 浩 

会計 石倉 康子 

平成 27 年度活動決算の監査にあたり、監査の結果、
正確かつ適正であることを報告します。

平成 28 年 4 月 8 日

監事

大石 光男 

廣田 真 

参考資料

平成28年度役員

役員任期は、定款 16 条により、2 年とする。

役員報酬は、今年度は全員なしとする。改選期ではないため、全員継続とする。

(敬称略)

	氏 名	住所または居所
理事長	小川 浩	富士市横割 3-2-5-203
理 事	石川 美枝	富士市伝法 2435-2
理 事	石倉 康子	富士市大淵 100 番地の 23
理 事	梅原 万奈	富士市今泉 3865-1
理 事	小野 房雄	富士市大淵 27 番地の 6
理 事	小野 由美子	富士市大淵 27 番地の 6
理 事	岸本 美和子	富士市今泉 3689-18
理 事	熊谷 良子	富士市大淵 99 番地の 27
理 事	小松 春枝	富士市大淵 356 番地の 6
理 事	佐野 勝美	富士市川成新町 95
理 事	平田 淳子	富士市大淵 95 番地の 76
顧問	松田 美夜子	熱海市田原本町 1-12-104
監 事	大石 光男	富士市本市場 442-9
監 事	廣田 貢	富士市大淵 370 番地の 51

第3号議案

平成28年度事業計画(案)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

I. 活動方針

1) 環境学習・環境啓発施設「リサイクルセンター」の研究と学習を進める。
2) 講演会・勉強会等を通して、富士市のごみの現状、分別の大切さ、生ごみ削減の取組みを、市と協力して行っていく。
3) ごみの削減・ごみ減量の方法と意義の普及を進める。
4) 若い世代を育てるために、環境教育を小学校等と協力し進める。

II. 活動内容

1) 環境教育実施施設「リサイクルプラザ」の研究と学習	毎月実施
2) ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習	
① 先進地域への見学・学習会、他団体との交流	適時実施
3) ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動	
① ごみ減量化、リサイクル促進等の講演会開催	適時実施
② 学校環境教育事業、地域環境教育事業への協力 「ごみ減量・適正分別講座」(地域・小学校) 市民のごみ減量・適正排出への意識高揚のための説明会支援	依頼時実施
③ ごみの会通信(会報)発行	春夏秋冬年4回
④ 外部団体主催の事業への参画・協力	依頼時実施
4) ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動	
① 各種審議会への参画(フジスマートプラン21推進のための援助、協力)	随時
② リユース食器の貸出(洗浄・煮沸を行ってもらえるところに限り)	適時実施
③ 生ごみ資源化協力	適時実施

<会として他団体への参画>

① 富士市男女共同参画 きらり交流会議運営委員会	小野 房雄
② 富士市地球温暖化防止活動地域協議会	植田 朗子
③ 廃棄物減量化等推進審議会	小野 房雄
④ 環境省 浄化槽フォーラム理事会	小野由美子
⑤ ふじさんネットワーク理事会	小野由美子

<他団体との協力>

環境省、静岡県、富士市、浄化槽フォーラム、ふじさんネットワーク、生ごみコーディネーター連絡会、きらり交流会議、富士市 NPO 協議会、リユース食器ネットワーク、有機農産物普及・堆肥化促進協会、自然復元協会、静岡県地球温暖化防止活動推進センター、チームマイナス6%、富士市環境アドバイザー、東海道・吉原塾、富士市地球温暖化防止活動地域協議会